

令和 2 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	中村健司
全体計画					経費区分	—			内線	3612		
事務事業名		6730 小学校国際化教育推進事業										
所 属		300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策		02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算科目		01 一般会計										
		100202 教育費・小学校費・教育振興費										
		030000 小学校国際化教育推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
児童が外国語を通して、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていく。また、外部講師による研修を行い、教職員の外国語活動指導能力を高めていく。						児童が直接外国人に接し、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に親しみながらコミュニケーション能力を育てていけるように役立てる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市内小学校へ、5・6年生に年20回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣した。	市内小学校へ、5・6年生に年25回、4年生に年12回、1～3年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。	市内小学校へ、5・6年生に年27回、3・4年生に年12回、1・2年生に年8回、外国語指導助手（ALT）を派遣する。

指標名	無し					
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		10,018	10,638
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		10,018	10,638
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	565.8	565.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	565.8	565.8
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,583.8	11,203.8

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	80	小学校外国語活動講師謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	9,938	英語指導助手委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	60	外国語教育指導計画策定アドバイザー謝礼
10節 需用費	0	
12節 委託費	10,578	英語指導助手委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	2020年度からの小学校における外国語教科化の動きに合わせて必要性は高まっている。保護者からの要望も強い	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	小学生は耳で聞いて学習するため、ネイティブの発音に直接触れる機会は有用	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	平成30年度から派遣契約とし勤務時間も延ばしたため、担任の先生と直接打ち合わせができるようになり、チームティーチングがしやすくなっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

小学校に配置している2人のALTは学校の評価も高く、安心して委託できた。
信州大学教育学部の酒井教授とも連携し、授業づくりを進めることができた

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
令和2年度から3年間の業者選定にあたり、これまでの業者が選定されたことから、これまでの実績と成果が活かされることを期待している。教科化により、各校の授業に差が出ないように、授業づくりの平準化を進める	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
今後より一層重点化される教育分野の一つ。しっかりとした対応が必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	